

事 務 連 絡
令和 3 年 4 月 1 6 日

都道府県家畜衛生主務課長 殿

農林水産省消費・安全局
動物衛生課家畜防疫対策室長

台湾本島新北市におけるランピースキン病の発生について

日頃より、家畜衛生の推進に御尽力いただき誠にありがとうございます。

今月 15 日、台湾当局が、台湾本島北部の新北市の肉牛農場においてランピースキン病の発生が確認された旨、公表しました（詳細については別添参照）。

ランピースキン病の海外発生拡大状況については、昨年 10 月の越境性動物疾病防疫対策推進会議においても情報提供しているところですが、昨年 6 月の中国福建省における発生及び昨年 7 月の台湾金門島における発生以降、東アジア、東南アジア地域において感染が拡大しており、直近では、今月、タイにおける初めての発生が確認されています。

つきましては、アジア地域からの媒介節足動物の飛来によりランピースキン病が国内へ侵入する可能性があることから、下記について御協力いただきますようよろしくお願いいたします。

記

- 1 牛及び水牛の飼養者に対し、本情報を提供するとともに、以下の事項について周知すること。
 - (1) 毎日の健康観察を行い、ランピースキン病を疑う臨床症状を観察した場合には、速やかに家畜保健衛生所へ届け出ること。
【参考写真】FAOウェブページ
http://www.fao.org/fileadmin/user_upload/eufmd/LSD/LSD-002_text_NO_logos_2_.pdf
 - (2) 本病を媒介する節足動物（主にハエ、カ、ヌカカ、ダニ）駆除等対策を必要に応じて実施すること。
- 2 農場からランピースキン病を疑う通報があった場合には、速やかに動物衛生課に報告すること。

以上

2021年4月16日

【参考情報】台湾新北市におけるランピースキン病の発生について

台湾新北市林口区の肉牛農場においてランピースキン病の発生が確認されました。台湾本島における同疾病の発生は今回が第1例目となります。

【台湾当局のプレスリリース】

台湾行政院農業委員会 2021年4月15日付

https://www.baphiq.gov.tw/theme_data.php?theme=NewInfoListWS&id=18901

時系列(プレスリリースを基に作成)

4月14日午後	・新北市家畜衛生当局が同市内の農場視察時、しこり及び発熱の症状を呈す牛8頭を発見
4月15日	・家畜衛生試験所によるPCRの結果ランピースキン病ウイルス遺伝子を検出 ・2019年に中国で、2020年に台湾金門島で分離されたウイルス株との遺伝子配列類似度が100%であることを確認 ・発病牛8頭を殺処分し、周辺農場の移動制限および臨床観察を実施 ・ワクチン22万5千回分をワクチンバンクから購入
4月16日まで (4月15日時点の予定)	・発生農場から10km以内の飼養牛にワクチン接種
4月18日まで (4月15日時点の予定)	・台北都市圏、桃園市、新竹市、新竹県、苗栗県の全飼養牛にワクチン接種 ・台湾内の全養牛農場を視察

発病牛、採材、埋却の様子

写真出典:台湾行政院農業委員会 2021年4月15日付プレスリリース添付資料



<参考情報>



【発生農場の周辺】

半径 3 km内: 1 戸、97 頭飼養

半径 3~10 km内: 4 戸、計 1162 頭飼養

半径 10 km外新北市内: 6 戸、計 383 頭飼養

※2021 年 4 月 15 日時点において、発生農場以外の飼養牛に異常なし。

以上